

日本モンゴル文学会 2022 年度春季研究発表会へ (開会のあいさつ)

S. バイガルサイハン

(モンゴル国立ウランバートル大学学長／日本モンゴル文学会副会長／
モンゴル国科学功労者／文献学博士 (Sc. D)／教授)

みなさまに本日のごあいさつを申し上げます。本年 2022 年には、モンゴル史上記念すべき多くの重要な出来事の記念日が訪れようとしています。まず初めに特記すべき出来事は、モンゴルの偉大な皇帝であり領袖でもあったチンギス・ハーン誕生 860 周年の歴史的な記念日が訪れようとしていることです。私たちの生きている社会の存在と関係、そして人と人との尊重しあう誠実な思想を正式に保障することを示した偉大なるハーンの仕事の歴史は、現在ではすべての人類にとって貴重な精神的財産となっています。

また二十世紀のモンゴル史において特別な位置を占める一つの重要な出来事は、1972 年 2 月 24 日に樹立されたモンゴル国と日本国との間の外交関係です。そしてこのような友好関係をさらに強化し多面的に発展させる観点から、日本モンゴル文学会が東京〔原文ママ〕で設立されたことでした。したがって、日本モンゴル文学会の会員のみならず、2022 年度春季研究発表会に参加されているモンゴル文学研究者のみならず、モンゴル国・日本国外交関係樹立 50 周年と日本モンゴル文学会創立 50 周年のお祝いを申し上げます。

モンゴル文学研究に日本のモンゴル文学研究者の方がたは重要な貢献をされてきました。初期には『モンゴル秘史』を筆頭とする古典書面文学や歴史文学の研究が成功裏に行われてきましたが、現在では、従来の研究の伝統をさらに豊かにした二十世紀モンゴル文学研究、D. ナツァグドルジ研究、Ts. ダムディンスレン研究、Ch. ロドイダンバ研究、B. ヤボーホラン研究、D. ニャムスレン研究などの方面で実り多い研究が行われています。さらに、近現代モンゴルの多数の作家の作品が日本語に翻訳され、日本の多くの読者や研究者に紹介されていることは賞賛に値します。

世界は現在、多くの甚大な試練にさらされ続けています。時代の趨勢が穏やかになり、少なからぬ要因の調整と条件が整えば、私たちは日本モンゴル文学会創立 50 周年に向けて、2022 年 8 月にウランバートルで記念学会を開催すべく企画していることをみなさまにお知らせするのを光榮に存じます。

最後にあらためて、日本モンゴル文学会 2022 年度春季研究発表会の開会のごあいさつを申し上げますとともに、本会に参加されているみなさまのご成功とご多幸をお祈り申し上げます。

以 上